

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

4

April  
2021

山形県中小企業家同友会

# 月刊 同友 やまがた



第6回女性部例会

(左から) 女性部副部長 笹林陽子氏、女性部会長 赤塚治美氏



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす  
中小企業経営者の全国組織

2020年度スローガン

10年ビジョンを描き、  
地域と企業の持続性を追求しよう

## 第6回女性部例会開催

# 経営指針づくりの気づきを自社の未来につなげて



3月17日、第6回女性部例会がTISカンファレンスセンターに於いて行われ、会員、ゲストの方を合わせて21名が参加しました。

「『経営指針をつくる会』を修了して」と題し、第25期指針修了生の(有)ミートの元気商事 代表取締役 中村明美氏、(有)シャルル 店長 林比呂子氏、Various Fashion 代表 河原恵氏から経営指針づくりの気づきや見えてきた自社の未来についてご報告いただきました。

林氏は受講を振り返り、「受講前は自社の独自性も、地域に必要とされているかどうかも分からずにいた。自問自答する中で自分の甘さを感じた。お客様への感謝、創業者の想いを理解し、未来を描けない経営者には誰もついてこな

いと気づけた。ここからが始まり。実践し続けていきたい」と述べました。河原氏は「あらゆる角度から学ぶことができた。経営指針づくりを通して自分自身の経営者としての覚悟の薄さに気づいた。経営指針書は、どうあるべきかの羅針盤となっている」と述べました。中村氏は社員への発表を行い、経営理念の浸透と想いの共有の為、ミーティングを始めたことを報告しました。そして「実践し、つまずくことがあっても、例会に参加しながら課題をクリアしていきたい」と明るく語りました。

その後行われたグループ討論は「あなたの『会社』『仕事』で大切にしていることは何ですか？」をテーマに行いました。いかにお客様に寄り添えるか、お客様が何を求め、何の為に働くのかを考えられる組織にできるか、科学性、社会性、人間性の観点から掘り下げました。

最後に(株)Hair with Water 代表取締役 赤塚治美氏より今年度で部会長退任の報告がありました。新年度は部会長(有)長門屋 代表取締役 笹林陽子氏、副部会長 Johndana 代表 鈴木垂矢氏の二名が中心となり女性部会を盛り立てていきます。

## 食・農部会 学習会開催

# 今こそ種をまき、ポストコロナに備えよう！



3月2日、同友会事務局に於いて、食・農部会学習会が開催されました。会場にはZoom参加者と合せて14名が集い共に学びあいました。

はじめに、齊加部会長が挨拶に立ち「コロナ禍から一年。激動の一年だったのではないかと思います。色々な課題があるが、それを危機と捉えるか、機会と捉えるか、それが大きな分かれ道になる。ダイバーシティでアンテナを張っていくことが重要ではないか」と述べました。

講師にはタイ・バンコク、ベトナム・ホーチミンで総合広告代理店を運営するMedia Presto Co.,Ltd. 代表取締役 高岡秀樹氏を迎え、「ポストコロナを見据え 外国人市場を考え

る」と題して講演しました。

冒頭、高岡氏は日本において確実に訪れる未来として、「少子高齢化」「在留外国人の増加」「オンライン市場の加速」の三つを挙げ、日本国内における外国人労働者の増加、距離や場所の概念の変化が生じると未来予測を述べました。そして、海外との往来が制限される今こそ、発信コストがかからない在日外国人に向けてPRし、海外へのコネクションを構築することが重要だと述べました。

PRの流れもAIDMA(注意喚起・興味・欲求・記憶・購入)からAISAS(注意喚起・興味・情報収集・行動・共有)に変化しており、インフルエンサーの存在が広告を考える上で外せない流れができてきていること、世界のSNSの現状にも触れ、国によってその利用媒体が異なることなどを示し、ローカライズすることの重要性についても説明しました。

参加者からは「オンライン化が加速したコロナ禍で、山形だから無理だと思っていたことが日本に留まらず世界を相手にビジネスができる。今こそ一歩踏み込むチャンスを意識した」「それぞれのターゲットに合わせ分析し、何が有効か考えることが重要と感じた」という感想が寄せられました。

# 会場&オンラインの「ハイブリッド例会」各支部開催中！



2020年春以降、山形同友会ではコロナ禍でも歩みを止めないためにオンライン例会・ハイブリッド例会(会場参加とオンライン参加を組み合わせた例会)に積極的に取り組み、今では各支部、委員会で珍しいものではなくなりました。今回は、そんなハイブリッド例会の様子をご紹介します。



10月27日、酒田市公益研修センターにて開催された庄内支部10月例会は、酒田地区設立決起集会後初めての例会となりました。ハイブリッド形式で開催し、オンライン参加を含め45名が参加。中には、遠隔地の他支部新会員さん

や他県同友会の方もいらっしゃいました。(有)大山ボデー 代表取締役 佐藤知志氏が『「人を生かす経営」が会社を変えた！～社員数が18名から35名へ増えたワケ～』と題して報告。入社後に組織の改革に努める中で同友会に入会、経営指針書を作成し「人を生かす経営」に取り組み、若手が集まり、育つ会社を作ってきた経営実践を報告しました。グループ討論もハイブリッド形式で実施。会場のグループにオンラインの参加者が混ざる形で「社員

が働きやすい会社になっていますか」のテーマで忌憚のない意見を交わしました。

2月22日、同会場にて行われた2月例会も同じくハイブリッド形式として開催されました。今回は秋田・岐阜同友会から計15名がオンライン参加し、計35名での例会となりました。報告者は(株)大久保硝子店 代表取締役副社長 大久保徳朗氏。「同友会フル活用で夢を語る企業へ～同友会で学びと実践を繰り返して見えてきたもの～」と題し、後継者として入社しての葛藤や、同友会に入会後、経営指針を実践し社員さんと夢を語れる企業に向けて突き進むさまを語りました。グループ討論は会場組とオンライン組に分かれて実施。「あなたの会社は夢を語れていますか？」をテーマに、未来のある会社づくりを熱く語り合いました。

オンラインでの例会参加は、会場での参加とは雰囲気や勝手が違う部分もありますが、「直前まで仕事が入っていたり、外出が難しい状況下でも参加できる」「遠隔地の例会に参加できる」「新鮮なメンバーとのグループ討論ができる」などのメリットも存在します。ぜひハイブリッド例会をフル活用してみてください。

※オンライン参加の仕方が分からない場合、事務局までお気軽にお問い合わせください！

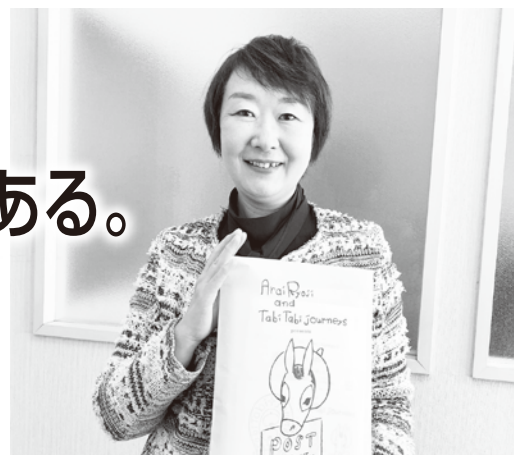


# 企業訪問

## 自社の成長は「初めて」の先にある。 BtoCにトライ。

(株)フロット

取締役 五十嵐久仁子氏(山形支部)



山形市で企画、デザイン、ブランディングを行う(株)フロットでは、コロナ禍の中ステイホームが続く子どもたちに向けて“創造の旅”を楽しんでもらおうと『POSTじゃあにい』の販売を始めました。同社初のBtoCの取り組みについて、(株)フロット 取締役 五十嵐久仁子氏に伺いました。

『POSTじゃあにい』は、絵本作家荒井良二氏と山形ビエンナーレに関わったアーティスト4人がつくったすごろく絵本など5種の作品が詰め込まれたアートキット。想像力をかきたたせる構成となっており、子どもの自由な発想で楽しむことができます。

この企画は「コロナ禍で出かけられない子どもたちに何かできることはないか」という相談を持ち掛けられたことをきっかけに始動しました。これまで企画やデザインの受注製作が主力だった同社が、販売元となるBtoCの展開を始めるにあたり、社内から「本当に売れるのか」と反対の声も上がったといいます。しかし五十嵐氏は自社が成長し、器を大きくするチャンスと捉え、プロジェクトで取り組み始めました。



非接触でポストに直接届けるという基本コンセプトのもと、ECサイトの構築やポストに入るサイズの封筒にどれだけのものを入れ、どう遊んでもらうか、アーティストや田宮印刷(株)と一緒に考え形にしていきました。ものづくりの先のプロモーションについても自社で行い、コアな

ファン層にはSNSを活用し、一般の方々に向けては広告ではなく広報にセグメントした上で広く周知する展開を



図りました。プレスリリースの投げ込みから、共同通信社の取材を受けることとなり、各地の地方紙やラジオでも取り上げられ、東京以南からも注文が増えました。

『POSTじゃあにい』を購入した方からは、「会話が增え、コミュニケーションツールとなっている」「子どもがこんな発想をするとは思わなかった」「子どもの情操教育にもいい」といった感想が寄せられています。

五十嵐氏はBtoCに取り組むことで、企画して作って売るといった基本的なことに素晴らしさを感じ、納品先が企業であるBtoBと違い、実際に商品を手取るお客様のことが想像しやすくなったといいます。今回のチャレンジをとおし、ECサイトの運営やプロモーションを実際に行うことで課題も見えてきました。また、顧客データの蓄積から顧客の志向に合った販売提案もできることが分かり、販売促進をお手伝いするクライアントへのアドバイスもより具体的にできるようになると語ります。

行動し試しながら、よりよい方へブラッシュアップしていくことで事例ができ、営業品目となること、柱を何本か立てながら太くしていくことの重要性について教えて頂きました。

『POSTじゃあにい』 オフィシャルサイト  
<https://tabitabi-journeys.com/>



# 山形県中小企業家同友会 第37回定時総会

日時: **4月22日(木)**

会場: TISカンファレンスセンター

山形市漆山字大段1865-5 ☎0120-730-389

受付/14:30 開会/15:00

定時総会15:00~16:00

記念講演16:15~17:50

参加費: **無料**

記念講演

## 逆風を力に!共に未来を切り拓こう

講師:中小企業家同友会全国協議会会長

**広浜泰久**氏(株ヒロハマ 代表取締役会長)

新型コロナウイルスの世界的感染拡大は、私たちの経済・社会に影を落とし、大きな変革をもたらしています。中小企業家はこれまでも、幾多の逆風に立ち向かってきました。オイルショック、バブル経済の崩壊、リーマンショック、そして東日本大震災。直面するたびに私たちは援けあい、乗り越えてきました。

記念講演では、中小企業家同友会全国協議会の会長である広浜氏より同友会が大切にしている「人を生かす経営」で缶部品メーカーとしてトップシェアを誇る会社に育てた取り組みを交え、逆風を力に未来を切り拓く経営について、お話いただきます。ぜひご参加ください!

## 支部総会の日程のお知らせ

### 山形支部

2021.5.20(木)17:00開会予定

場所: TISカンファレンスセンター

山形市漆山字大段1865-5 ☎0120-730-389

### 置賜支部

2021.5.14(金)予定

場所: 伝国の杜

米沢市丸の内1-2-1

寒河江支部、さくらんぼ支部、庄内支部、新庄最上支部については、決まり次第ご連絡申し上げます。

**■開会挨拶**

菅原代表理事が「東日本大震災から10年。当時から同友会は歩みを止めず『一社もつぶさない』という取り組みを進めてきた。先日の中同協幹事会で、コロナ禍においても同じ精神性で取り組むという話がありました。同友会の活性化は自社、地域の仲間の活性化にもつながります。ご協力いただき、同友会の立ち位置を更に向上させていきたい。今年度の会員数の目標は未達成ではあるが期首会勢を上回った。コロナ禍でも歩みを止めず増強活動に取り組んでいただいた皆様のおかげです。引き続きご協力いただきたい」と述べました。

**■報告事項**

- 1)2020年度第2回中同協社員教育委員会2/16(Zoom開催)1名参加  
庄司理事が、花園大学社会福祉学部教授(名古屋大学名誉教授)の上田氏より「生きること、働くこと、学ぶこと」と題しての講演があり、人間らしく生きることの喜び、働くことの喜びのために学ぶのではないかという提起があったこと、「ヒト」は教育を受けて育まれることで初めて「人間」になるという話があり、社会や会社はどのように社員共育を行っていくかについて改めて考える機会となり、経営者自身が人を育むということについて、どう考えていこうかが重要と感じたと報告しました。
- 2)第30回中同協青年部連絡会2/19(Zoom開催)1名参加  
佐藤(淳)理事より、中同協青年部連絡会の決定された2030VISIONを確認し、第49回青全交については9月9日に岐阜で開催予定だったが全面オンライン形式となること承認されたこと、他同友会の行事に積極的に参加していきたいということになり、情報共有用のfacebookグループが作成されたことが報告されました。
- 3)2020年度第2回女性部連絡会3/2(Zoom開催)3名参加  
赤塚理事より、各地の活動フェイスシートの共有で各同友会の活動状況が分かり、議事を取り上げられない同友会の活動も参考にできていること、山形同友会は女性役員率が向上していること、グループ討論では「何のため、誰のための女性部なのか」をテーマに、各地の女性部は今後どうあるべきかを語り合ったことが報告されました。
- 4)北海道東北ブロック代表者会議3/4(Zoom開催)4名参加  
川合代表理事が、各同友会より2021年度の総会の形式・内容と、第2次事務局プロジェクト中間報告を受けての進捗について報告があり、その後の中同協第53回定時総会の北海道東北ブロックからの役員選考委員と、中同協副会長候補者の選出を行ったこと、8月の北海道東北ブロック支部長・地区会長交流会については、新型コロナの状況を見て、2か月前に形式も含め決定する予定と報告しました。
- 5)中同協第4回幹事会3/9(Zoom開催)4名参加  
菅原代表理事より、広浜会長のあいさつで、東日本大震災以降について「同友会の蓄積が実績になっていった」「その結果同友会の立ち位置が変化した」「その立ち位置にふさわしい自分たちになっているのか」と問題提起があり、その後全国行事関連の報告、オンラインの有用性と可能性、REES(中同協・東日本大震災復興推進本部内研究グループ)は解散し、「危機管理と対策推進本部」として常設組織を新たに立ち上げる、組織強化についての話があった。その後、議案についてグループ討論を行った。中同協議案書は大変中身の濃いものとなっており、各地同友会の議案書は具体的に会員活動に活かせるものとなっていなければならず、自身としても中同協総会議案書への理解をもう一段階深める必要があると感じたと報告がありました。
- 6)2020年度2月月次報告  
矢作事務局長から月次報告がありました。
- 7)2020年度2月月次決算報告  
矢作事務局長から月次決算報告がありました。

**■情報ツールのコンペ**

2社よりHPの刷新をはじめとした情報ツールについてプレゼンテーションがありました。

**■承認事項(入・退会承認)** 4名入会、3名退会 426名

**■討議事項**

**議題1:情報発信ツールについて**

2社のプレゼンテーションを踏まえた意見交換を行いました。その上で理事の意見集約をし、常任理事会で要件定義の委細を定め、2社に確認をすることとなりました。

**議題2:第37回総会議案について**

- 1)2020年度活動のまとめ(案)  
川合代表理事から、今年度活動のまとめについて、前理事会からの追記、修正箇所について説明があったのち、承認されました。
- 2)2021年度活動方針(案)  
菅原代表理事から、次年度活動方針が提案されました。共同求人委員会から口頭での資料修正、中期ビジョンにある会員数目標を下方修正しないことを確認した後、承認されました。
- 3)2021年度予算(案)  
菅原代表理事から次年度予算の一次案、並びに労賃事務局員の主任昇格を含めた人件費案が提案され、承認されました。
- 4)2021年度役員(案)  
後藤副代表理事から役員案が提案され、役員選考委員会に諮ることが承認されました。

**議題3:第37回定時総会について**

後藤副代表理事より下記の開催要項、記念講演、タイムスケジュール、予算案が提案され、承認されました。

**【開催要項】**

- 日時:4月22日(木)15:00~18:00
- 会場:TISカンファレンスセンター
- 記念講演講師:中同協 会長 広浜泰久氏

**■その他**

- 1)委員会よりのご案内
  - ①社員共育委員会
    - ・合同入社式・新入社員研修(4/2)
  - ②共同求人委員会
    - ・学校訪問
    - ・合同企業説明会(4/5)
    - ・地域イノベーションプロデューサー塾について
  - ③経営指針委員会
    - ・第26期経営指針をつくる会(5/29開講)
- 2)今後の予定について
  - ・3月2日(火)2020年度第2回女性部連絡会(Zoom)13:00
  - ・3月9日(火)中同協幹事会(Zoom)13:00
  - ・3月13日(土)第51回中小企業問題全国研究集会(オンライン)10:30~17:30
  - ・4月2日(金)合同入社式・新入社員研修(TISカンファレンスセンター)9:00~16:45
  - ・4月5日(月)合同企業説明会(山形テルサ)13:00~16:30
  - ・4月15日(木)経営指針を知る会(TISカンファレンスセンター)13:00~17:00
  - ・4月22日(木)第37回定時総会(TISカンファレンスセンター)15:00~18:00
  - ・5月13日(木)経営指針をつくる会プレセミナー(TISカンファレンスセンター)13:00~17:00
  - ・5月29日(土)~30日(日)第26期経営指針をつくる会第1講(ホテルシンフォニー)
  - ・6月1日(火)中同協第53回定時総会(オンライン)
  - ・6月1日(火)中同協第1回幹事会(オンライン)
  - ・6月29日(火)第24回女性経営者全国交流会(オンライン)
- 3)理事会の予定
  - 日時:4月14日(水)15:00~17:00 ●会場:TISカンファレンスセンター

**■開会挨拶**

川合代表理事が「3月の中同協幹事会の全国の会員数をみると期首会勢を上回っているのは3同友会。山形も期首会勢を超え、4同友会目となる。同友会活動が面白そうだ、経営課題を解決できそうだとことを発信し、「同友会は他と違う」という声が耳に入ることで入会につながるよう、活動していく必要がある。来月の総会に向けて、ご協力をいただき、来年度は更に活性化させていきたい」と述べました。



- |                                     |  |   |  |
|-------------------------------------|--|---|--|
| あきば<br>◆ <b>秋葉 真氏</b>               | いとう<br>◆ <b>伊藤 尚彦氏</b>                       | おがわ<br>◆ <b>小川 隆一氏</b>                    | さとう<br>◆ <b>佐藤 憲一氏</b>                                   |
| (株)モアイズ<br>代表取締役<br>メンテナンス業<br>山形支部 | (株)アウォークス保険サービス<br>山形支店 支店長<br>保険代理業<br>山形支部 | (株)ライフワーク<br>代表取締役<br>労働者派遣業<br>庄内支部 酒田地区 | (株)カーサービス山形酒田店<br>店長<br>自動車販売(新車・中古車)、整備、板金<br>庄内支部 酒田地区 |

**会員変更**  
●(株)山形ピッグファーム 会長 阿部秀俊氏⇒ **部長 渡辺和彦氏(山形支部)**  
●(株)セントラルリース 代表取締役 鈴木康子氏⇒ **代表取締役 今野 修氏(山形支部)**